

平成 29 年 2 月 1 日

(公社)日本工学アカデミー 安全知と安全学委員会
委員長 向 殿 政 男

第 183 回談話サロン(第 12 回安全工学フォーラム)
「交通の自動運転／自律運転」 開催のご案内

鉄道や航空機をはじめとして、自動車や船舶に至るまで、いまや交通移動体の安全は、高度に発達した IT 技術に依存していると言っても過言ではない。2015 年 10 月、安倍首相は、2020 年の東京五輪・パラリンピックまでに、自動車の自動運転技術の実用化と普及を実現させる方針を明らかにした。自動車の自動運転技術は、我々の生活に多くの恩恵をもたらすだろう。一方、実用化と普及に向けては、世界的な主導権争いが繰り広げられている。

これからは、産学官が強固に連携するだけでなく、それぞれの利害関係を乗り越えられる強いリーダーシップが必要である。当談話サロンでは、自動運転技術がもたらす安全の観点から実用化と普及に向けた課題を明らかにし、自動運転技術の方向性を考えたい。

テーマ : 交通の自動運転／自律運転

日 時 : 2017 年 3 月 15 日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分

場 所 : 弘済会館 4 階 菊(西)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-1 tel.03-5276-0333

参加費 : 無 料

ご挨拶(13:30-13:45)

安全知と安全学委員会 委員長 向殿政男

講演 1「自動運転の最新動向と将来像について」(13:45-14:30)

一般財団法人 日本自動車研究所 所長 永井正夫

概要: 現在日本学術会議において提言「自動運転の将来像(仮)」としてまとめている内容について紹介する。とくに、国家プロジェクト SIP「自動走行システム」などにおける協調領域の研究開発課題、自動運転のレベル議論、ドライバと自動運転システムとの関係、高齢者支援、受容性評価、更には産学連携などの諸課題について概観する。

講演 2「自動運転の様々な課題とその解決の展望について」(14:30-15:15)

株式会社 NTT データアイ 特別参与 宮寄拓郎

概要: 国土交通省の経験から、提案されている自動運転レベルへの疑問、組込ソフトの課題、自律自動運転とインフラ・通信利用自動運転、装置・機能の消費者への説明と理解、リコールとアップデート、中古自動運転車の流通、国連道路交通条約と国際自動車基準、自動運転の基準と認証、自動運転時代の保険、自動運転記録の必要性、民法・自賠法・PL法・刑法と自動運転など、今後議論される様々な課題を考察し、その解決方策を探る。

パネルディスカッション(15:30-16:30)司会: 向殿政男

パネリスト: 永井正夫、宮寄拓郎